



# 山谷ひろこ スマイル通信

2024.10月発行 vol.7

事務所連絡先 大鰐町大字島田字後ヶ沢48 TEL・FAX 0172-48-5992

## 届かぬ声を拾いたい!

—ひとりひとりが主役の町づくりを目指して  
あなたの声を町政に届けます—

大鰐町議会 令和6年6月一般質問において

### 弘南鉄道大鰐線運行にかかわる課題への取り組みと進捗状況について

**Q** 先般3月定例会でも質問をさせていただきましたが、その後の経営改善や修繕に向けた取り組み、費用対効果など、今現在の運行存続にかかわる進捗状況について現状を伺う。

**A.** 今年4月に中長期計画の一部を改訂し、経営の見直しや職員の教育訓練や講習会を実施するなど、職員一人一人の技術力の向上を図るなど経営改善に取り組む内容が盛り込まれた。また、費用対効果については大鰐線旅客動態アンケート及びクロスセクター効果調査を実施した。その結果、沿線市町村が大鰐線を維持した場合の財政負担と比較し、分野別代替施策に係わる費用が、最大で年間五千四百二十一万円多くなると算出された。今後も沿線市町村や関係者等と協議を進めていく。

#### ——— 要望・意見 ———

脱線事故での一連の責任、安全管理、抜本的な組織改革が求められている。アンケートの結果では、大鰐線が必要83.7%、高齢者や学生の主なる交通手段である30.7%と、いかに必要とされているかわかる。交通弱者を守るのも行政の役割である。公共性、地域活性化の立場からも前向きに検討していただきたい。

### 大鰐町の健康増進と短命に関する取り組みについて

**Q** 人口動態統計特殊報告において、市区町村別標準化死亡比が公開された。二〇一八年から二〇二二年の五年間の統計で、それによると全国千八百八十七の市区町村別死亡率が、青森県は全国でワースト六位。市区町村で見ると、大鰐町は男性がワースト十六位、女性がワースト一位という結果であった。大鰐町の場合は、女性の死亡率がワースト一位だったことに関して、人口比でみるので人口が少ない大鰐町の場合、一人二人が亡くなったとしても死亡比は高くなるとのことだが、その他に要因は考えられないか。また、健康増進、短命から脱却するために町の課題と取り組みについて見解を伺う。

**A.** 本町の女性の主要死因をみると、肝臓がんが最も多く、次いで胃がん、脳血管疾患、大腸がん、心疾患の順となっており、がんや生活習慣病によるものが多くなっている。また、六十歳未満の女性に絞ってみても、がんが最も多くなっている。がんや生活習慣病を予防するには、生活習慣の改善、がん検診や特定健康検査などによる早期発見、早期治療による重症化予防が重要である。本町については、平成二十七年に「湯の郷おおわに健康宣言」をし、全町民が自らの健康に関心を持ち、お互いに支え合いながら町全体で健康づくりに取り組むこととしている。また、令和六年三月には、「健康おおわに21第3次計画」を策定し、生活習慣の改善、生活習慣病の発症・重症化予防の徹底、ライフステージや性別に応じた健康づくりの推進を基本方針とし、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図ることとしている。今後がん検診、特定健康診査などの受診率の向上、減塩や野菜摂取量の増加、運動する習慣作り、多量飲酒者と喫煙者の減少などに取り組んでいく。



大鰐町議会議員

#### 活動内容

子どもからお年寄りまで  
くらしの声を町政に届けます

#### 子育て・教育の充実

食と健康を預かる  
ベースとなるのが家庭  
あたらしい世代が  
健やかに育める地域に

#### 地域活性化の支援

農業、産業、観光など  
これらを見据えた  
仕組みづくりを

#### 婚活事業の推進

大鰐町での新たな出会いや  
夫婦の新生活に向けた  
支援の確立へ

#### その他の活動内容

- ・ 農業後継者の支援
- ・ 食育の強化
- ・ 高齢者医療、介護の充実
- ・ 女性活躍の支援
- ・ 男女共同参画の基盤整備
- ・ リカレント教育の支援
- ・ ヘルスツーリズムの推進

### 要望・意見

大鰐町ではがん検診を無料で行うなど、町の積極的な丁寧な取り組みがわかった。予防の観点、啓発活動、周知方法など地道な努力だが、町民の健康を守るための取り組みに期待している。

## 大鰐町議会 令和6年9月一般質問において

### 病児・病後児保育について

**Q** 病児・病後児保育の要望があった。子どもは急に発熱したり、いつ病気になるかわかりません。そんな時に安心して病児を保育してくれるところがあればどんなに心強いかと思います。子育て世代は世帯収入を上げるために必死で働いています。どうしても仕事で休めない時もあります。近くに面倒をみてくれる親御さんがない世帯も多いと聞いています。頼るところは病児・病後児保育しかありません。大鰐町では病児・病後児保育の必要性についてどのように考えているか見解を伺う。

**A** 本町では当該保育は実施していないが、弘前市と平川市の施設を大鰐町民も利用することができる。利用実績は令和三年はなく、令和四年度は三人、令和五年度は五人となっている。実施に当たっては、設備基準や職員配置基準など様々な要件がある。特に職員の配置基準の要件は、最低でも看護師一人と保育師一人となっており、利用実績を考慮すると費用対効果が低いものと考えられるため、弘前市と平川市を推奨している。子ども・子育て会議の意見や財政事情を考慮しながら、実施について検討していく。

### 要望・意見

近隣市町村では9年前から事業化している。このままでは子育て世代は支援が充実している近隣に流出していく。子育てと就労の両立支援、大鰐町で産み育てていきたいと思う世代が増えるよう町の前向きな取り組みを期待している。

### 秋接種の新型コロナワクチンについてと健康被害について

**Q** 大鰐町の場合の接種料金、対象者やワクチン名、そして過去の接種で健康被害の申請はあったのか現状を教えてください。

**A** 接種料金は大鰐町の場合は三千元。生活保護者は無料。対象者は六十五歳以上の方と、六十歳以上六十五歳未満の方で心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害がある身体障害者手帳一級に相当する人である。使用するワクチンは未定であり今後厚生労働省で決定される。大鰐町の場合、健康被害の申請はない。

### 要望・意見

健康被害について不安に思っている町民も多いようですので、相談があった場合、被害救済制度の保証に関して等、対応を宜しく願いたい。



弘前市令和4年度就労準備支援事業セミナー講師  
(令和4年10月)



大鰐町社会福祉協議会「ふれあいサロン」メイクアップ撮影会  
(令和5年8月)



「ウィメンズ大鰐」防災勉強会  
(令和5年12月)



「ウィメンズ大鰐」防災勉強会



議会報告会 (令和6年3月)

## SNSによる活動の様子は下記からご覧いただけます



公式HP  
インタビュー動画  
活動通信公開中

HP



Instagram



lit.link



X



Facebook

